

平成21年度
年 報

■ 目 次 ■

◆ 目的及び事業	2～3
◆ 平成 21 年度事業概要	
I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業	4
II 展覧会事業 (1) 展覧会開催事業	4
(2) 常設展の展示構成	5
III 教育普及事業	6～7
IV 北海道文学に関する調査研究事業	7
V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業	8
VI 啓発広報事業	8
VII 刊行物の刊行事業	8
VIII その他の付帯事業	8
◆ 統計・資料	
I 平成 21 年度 展覧会別観覧状況	9
II 平成 21 年度 事業別利用状況	9
III 平成 21 年度 資料収集状況	10
◆ 組織及び職員	
I 組織機構図	11
II 職 員	11
◆ その他	
I 文学館の歩み	12～13
II 諸会議・運営日誌	14～16
III 財団法人北海道文学館役員等名簿	表 3

■ 目的及び事業 ■

●北海道立博物館条例（抄）

（設置）

第1条 北海道における教育、学術及び文化の振興を図るため、北海道立博物館（以下「博物館」という。）を設置する。

（名称及び位置）

第2条 博物館の名称及び位置は、次のとおりとする。

名 称	位 置
北海道立北方民族博物館	網走市
北海道立文学館	札幌市
北海道立釧路芸術館	釧路市

（事業）

第3条 博物館は、次の事業を行う。

- (1) 資料を収集し、保管し、展示し、及び閲覧に供すること。
- (2) 展覧会、講演会等の催しを開催し、及び他のものが行うこれらの催しに協力すること。
- (3) 資料の利用に関し、必要な説明、助言等を行うこと。
- (4) 博物館（北海道立北方民族博物館（第6条において「北方民族博物館」という。）を除く。）の施設及び設備（以下「施設等」という。）を文学、美術等芸術に関する催しの利用に供すること。
- (5) 資料に関する専門的又は技術的な調査研究を行うこと。
- (6) 資料の保管、展示等に関する技術的な研究を行うこと。
- (7) 解説書、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (8) 他の博物館等と連携し、及び協力すること。
- (9) 地域の教育文化施設が行う北方文化、文学、美術等芸術に関する活動を援助すること。
- (10) その他設置の目的を達成するために必要な事業

（指定管理者による管理）

第4条 博物館の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定による指定を受けた法人その他の団体（以下「指定管理者」という。）に行わせるものとする。

（指定管理者が行う業務の範囲）

第5条 指定管理者が行う業務は、次のとおりとする。

- (1) 第3条各号（第5号及び第6号を除く。）に掲げる事業に関すること。
- (2) 第8条第1項、第13条及び第16条第2項の承認に関すること。
- (3) 施設等の維持管理に関すること。
- (4) その他教育委員会が定める業務。

（開館時間）

第6条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時まで（北方民族博物館にあつては、午前9時30分から午後4時30分まで）とする。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、臨時に開館時間を変更することができる。

（休館日）

第7条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、博物館の管理運営上必要があるときその他特に必要があると認めるときは、教育委員会の承認を得て、休館日に開館し、又は臨時に休館することができる。

(1) 月曜日（当該日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）に当たるときは、休日に該当しない当該日の直後の日）

(2) 12月29日から翌年の1月3日まで

（利用料金）

第12条 利用者は、その利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を指定管理者に納めなければならない。

2 前項の規定により指定管理者に納められた利用料金は、指定管理者の収入とする。

3 利用料金の額は、別表に定める額の範囲内において、指定管理者が知事の承認を受けて定める。これを変更しようとするときも、同様とする。

別表（第12条関係）

1 博物館に展示する資料を観覧する場合

(2) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の常設展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	330円	1人に 220円 つき
2 1以外の者(学齢に達しない者、小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者を除く。)	670円	1人に 550円 つき

2 北海道立文学館の特別展示室又は講堂を利用する場合

区分	利用料金の上限額		
	午前	午後	1日
特別展示室			57,450円
講堂	7,090円	8,860円	14,730円

(4) 北海道立文学館及び北海道立釧路芸術館の特別展示の場合

区分	利用料金の上限額	
	個人	10人以上の団体
1 小学校の児童、中学校の生徒及びこれらに準ずる者	990円	1人に 850円 つき
2 高等学校の生徒、大学の学生及びこれらに準ずる者	1,620円	1人に 1,200円 つき
3 1及び2以外の者(学齢に達しない者を除く。)	2,640円	1人に 2,050円 つき

■ 平成 21 年度事業概要 ■

I 文学資料の収集・整理・保存及び閲覧事業

購入資料受入れ総数（図書・雑誌及び特別資料等） 1,056 点

寄贈資料受入れ総数（同上） 13,365 点

計 14,421 点

整理・保存 収蔵資料のコンピュータ入力並びに寄贈目録作成等

閲 覧 利用者 延 4,879 人

II 展覧会事業

(1) 展覧会開催事業

区分	事業名	実施時期 (日数)	観覧者数 (人)	展覧会の概要
	常設展 北海道の文学	通年 (307 日間)	11,427	北海道の文学を時系列に従いつつジャンル別に構成し、解説している。ビジュアルな展示スタイルに主眼を置き、直筆原稿・遺品・初版本・書簡・写真などの貴重な資料 1,350 点を公開している。(◎展示構成を次頁に掲載。)
	特別企画展 没後 10 年…三浦綾子／ いのちへの愛	8 / 1 (土) ～ 9 / 27 (日) (50 日間)	3,310	旭川市生まれの小説家・三浦綾子 (1922～1999) の宗教精神に支えられた「いのち」への深い眼差しを紹介した。『氷点』『塩狩峠』『天北原野』『銃口』などの長編小説を中心に、自伝的作品なども含め全 6 章に分けて展示した。
	企画展 語り、継ぐ。 アイヌ口承文芸の世界	5 / 30 (土) ～ 7 / 20 (月祝) (45 日間)	2,205	アイヌ民族の理解に不可欠である口承文芸に焦点を当て、今日の活動の礎となった金田一京助、久保寺逸彦、知里真志保らの先達による膨大な録音テープ、調査ノート、写真等を紹介した。知里真志保生誕百年にも因む展覧会。
	企画展 サハリンを読む 遙か [樺太] の記憶	11 / 21 (土) ～ 1 / 17 (日) (44 日間)	2,270	日露の近代史の中で特異な位置を占めるサハリン (樺太) について、関連する多くの文学作品や、映像、写真、地図などにより、近代史、民族問題、異文化との交流などの多彩な観点から紹介した。
	企画展 藤倉英幸と 旅のイメージ	1 / 30 (土) ～ 3 / 22 (月祝) (45 日間)	2,540	岩内町出身の藤倉英幸 (1948～) による JR 車内誌「THE JR Hokkaido」の詩情豊かな北海道の表紙絵を中心に、同誌を飾る渡邊俊博のイラスト、小檜山博のエッセイなどを紹介し、広報メディアによる「旅」のイメージのありようを探った。
貸館	チカupp美恵子 刺繍作品展	1 / 21 (木) ～ 1 / 27 (水) (6 日間)	939	アイヌ模様の刺繍家・チカupp恵美子 (1948～2010) の作品展。刺繍 70 点、イラストや著作などを展示。

【常設展プレミアム】

常設展プレミアム

特集「フロンティア」— 60-70 年代の北海道

4 月 11 日 (土)～5 月 17 日 (日) 32 日間 観覧者数 1,077 人

1960 年代から 70 年代にかけて発行されていた北海道電力株式会社の広報誌「フロンティア」を紹介し、武者小路実篤、田辺聖子、谷川俊太郎ほか多彩な執筆陣の直筆原稿、イラスト原画などを展示し、当時の世相をふりかえった。

【文学館アーカイブ (新着資料) コーナー】

・第 1 期展示 [4 月 1 日 (水)～6 月 30 日 (火)]

北の放送文化 HBC 映画社 記録映画台本

シナリオ作家・森道夫氏から寄贈された北海道放送映画 (通称・HBC 映画社＝現 HBC フレックス) によって制作された 1960 年以降の記録映画の台本 110 冊 (「郷土と自衛隊」、「札幌オリンピック作戦」、「知床の詩」など) を紹介。加えて、当館所蔵の放送作家・佐々木逸郎氏 (1927～1992) 旧蔵資料を展示した。

- ・第2期展示〔7月1日(水)～9月30日(水)〕
最期の手紙 1923年の有島武郎と波多野秋子
2008年12月に購入した作家・有島武郎(1878～1923)と、1923(大正12)年、軽井沢の別荘浄月庵で武郎とともに命を絶った、婦人公論の記者・波多野秋子(1894～1923)の往復書簡を含む二人の死の前後の資料を展示した。
- ・第3期展示〔10月1日(木)～12月27日(日)〕
北海道のミステリー作家たち ― ミステリー王国北海道
日本ミステリーの草創期を支えた水谷隼や久生十蘭ら函館出身の作家たちや、佐々木譲(夕張市生まれ)、今野敏(三笠市生まれ)、東直己(札幌市生まれ)、馳星周(浦河町生まれ)、矢口敦子(函館市生まれ)、佐藤友哉(千歳市生まれ)ら第一線で活躍する作家たちなど、北海道出身のミステリー作家を当館所蔵の図書資料を通して紹介した。
- ・第4期展示〔1月5日(火)～3月31日(水)〕
文人たちの筆跡 ― 当館蔵「色紙」紹介
中村武羅夫色紙(07年度購入)、船山馨色紙(07年度購入)、森田たま色紙(07年度購入)、石森延男色紙(08年度購入)、高橋揆一郎色紙(08年度受贈)、大野風流色紙(09年度受贈)、中村二恵色紙(09年度受贈)、高安國世色紙(09年度受贈)、向坂一郎色紙(09年度受贈)など近年収集したものを中心に当館所蔵の貴重な色紙を展示した。

(2) 常設展の展示構成

〈北海道の文学、その歴史〉〔神谷忠孝・平原一良〕

◆20世紀への胎動 久保栄「五稜郭血書全5幕」自筆原稿、北方謙三「林蔵の貌」自筆原稿、高倉新一郎『札幌農学校』 ◆助走期の苦闘 有島武郎・木田金次郎宛書簡、武者小路実篤「武郎さんと僕」自筆原稿、雑誌「白樺」 ◆漂泊と彷徨 国木田独歩「欺かざるの記」複製原稿、幸田露伴「二日物語 此一日」複製原稿、石川啄木「雲は天才である」複製原稿 ◆道産子作家の誕生 武林無想庵「アルバム」自筆原稿、森田たま「きもの博士」自筆原稿、中戸川吉二・久米艶子宛書簡 ◆逆流のさなかで 小林多喜二「故里の顔」複製原稿、久保栄「火山灰地」自筆原稿、本庄陸男「逆流」自筆原稿 ◆モダニズムの台頭 伊藤整「文学的青春伝」自筆原稿、中村武羅夫自筆色紙、岡田三郎「かぼちゃ談義」自筆原稿 ◆戦火の中で 辻村もと子「馬追原野」自筆原稿、石塚喜久三「花の海」自筆原稿、坂本直行自筆カット原画 ◆復興と再生 畔柳二美「こぶしの花の咲くころ」自筆原稿、風巻景次郎「札幌地理学」複製原稿、船山馨遺品 ◆成長期の精華 雑誌「北海文学」(原田康子「挽歌」掲載)、和田芳恵「五十年ぶりの帰郷」自筆原稿、李恢成自筆色紙、三浦綾子短冊(三浦光世筆) ◆変転する現代 高橋揆一郎「『伸子』覚え書き」自筆原稿、吉村昭「赤い人」自筆原稿、渡辺淳一「リラ冷えの街」自筆原稿

〈北海道の詩〉〔原子修〕

◆「現代の詩」の創造に挑んだ〈風の詩人〉たち 吉田一穂「魚歌」自筆扁額、小熊秀雄画「裸婦」 ◆「現代の詩」を北の大地に根づかせた〈土の詩人〉たち 更科源蔵「河童十二ヶ月」複製原稿、和田徹三「命」自筆原稿、河邨文一郎「オホーツク」自筆原稿 ◆「現代の詩」の新しい可能性を求めて 原子修自筆色紙

〈北海道の短歌〉〔山名康郎〕

◆北海道歌壇の動き 山下秀之助、酒井廣治、小田観螢、中城ふみ子ほか ◆来道歌人 斎藤茂吉、与謝野寛、与謝野晶子、斎藤史、宮柵二ほか ◆口語短歌 鳴海要吉、石川啄木ほか ◆アイヌの歌人 バチラー八重子、遼星北斗、森竹竹市ほか

〈北海道の俳句〉〔木村敏男〕

◆北方俳句の夜明け 松窓乙二、河東碧梧桐、牛島勝六、高浜虚子、長谷川零餘子、白田亜浪、石田雨圃子、青木郭公ほか ◆俳句近代化への潮流 荻原井泉水、泉天郎、長谷部虎杖子、唐笠何蝶、細谷源二、土岐鍊太郎、伊藤凍魚、水野波陣洞ほか ◆花ひらく北の俳句 斎藤玄、寺田京子、比良暮雪ほか ◆俳句の現代 比良暮雪、佐々木丁冬、鮫島交魚子、園田夢蒼花、山岸巨狼ほか

〈アイヌの口承文芸〉〔青柳文吉〕

金田一京助、知里真志保、久保寺逸彦、金成マツ、知里幸恵、萱野茂

〈北海道の川柳〉〔斎藤大雄〕

◆明治～昭和前期 鈴木青柳、北村白眼子、亀井花童子、神尾三休、三輪破魔杖、井上剣花坊、鶴彬、西嶋〇丸、田中五呂八ほか ◆昭和後期～平成7年 西村欣童、高木夢二郎、森田一二、甲野狂水、古田八白子 ◆北海道の川柳社 道央、道南、道東、道北の各結社の活動と結社誌等を紹介。

〈北海道の児童文学〉〔柴村紀代〕

◆明治～昭和20年代 伊東音次郎、支部沈黙、坪松一郎ほか ◆昭和30年代 石森延男、神沢利子、安藤美紀夫、渡辺ひろし、玉川雄介ほか ◆昭和40年代以降 加藤多一、後藤竜二、長野京子ほか

〈千島・樺太の文学〉〔木原直彦〕

夏堀正元、吉村昭、李恢成、寒川光太郎ほか

III 教育普及事業

注：「事業項目」の無印は道負担金事業、※印は財団企画事業。

事業項目	事業名	実施時期(日数)	観覧(参加)者 実績数(人)	備考
フィルムレクチャー	『わが愛北海道』に観る 1960 年代の北海道 (解説：当館学芸員)	5/3(日・祝)	21	特集「フロンティア」関連事業
講演と対談	「アイヌ口承文芸のなかの『恋愛』」(対談：本田優子氏、中川 裕氏)	5/30(土)	95	アイヌ口承文芸展関連事業
ミニ講座	「久保寺逸彦文庫の資料について」(講師：道立アイヌ民族文化研究センター職員)	6/6(土)	25	〃
ミニ講座	「アイヌ口承文芸を聞く」(講師：道立アイヌ民族文化研究センター職員)	6/13(土)	42	〃
シンポジウム	「口承文芸の魅力——アイヌとその隣人」(講師：秋原眞子氏ほか)	6/14(日)	168	〃 会場：北海道大学
文芸対談	「語ること、聴き取ること——『アイヌ神謡集』を手がかりに——」(講師：横山むつみ氏、池澤夏樹氏)	7/12(日)	95	〃
講演会	「三浦綾子とその時代」(講師：山内亮史氏)	8/1(土)	48	三浦綾子展関連事業
朗読と演劇	「母 舞台上に生きる三浦綾子の文学」(脚本・演出：森 一生氏)	8/29(土)	224	〃 会場：北翔大学ポルトホール
講演会	「妻・綾子と歩んだ 40 年」(講師：三浦光世氏)	9/5(土)	87	三浦綾子展関連事業
文学散歩	行程：三浦綾子記念文学館、旭川六条教会、塩狩峠記念館 (ガイド：片山晴夫氏、神谷忠孝氏)	9/12(土)	37	〃
市民参加型事業	「私の好きな三浦綾子作品」(三浦綾子作品一つを取り上げ、エピソードを投稿。作文を掲示し紹介。)	三浦綾子展会期中	103	〃
ギャラリートーク	「物語る庭で根ほり葉ほり」(講師：小林重予氏)	10/10(土)、17(土)、31(土)、11/1(日)、8(日) 5日間	56	ファミリー文学館関連事業
クロストーク&朗読会	『鬼のいる庭』ができるまで」(講師：小林重予氏、岡田哲也氏)	10/24(土)	79	〃
市民参加型事業	「想いの接ぎ木——連なる言の葉」(小林作品から絵と言葉をつなぎ合わせて物語を作る。作品を掲示し紹介。)	小林重予展会期中	375	〃
文芸講演会	「『樺太文学』の現在」(講師：川村 湊氏)	11/21(土)	56	サハリン展関連事業
トンコリ演奏会	サハリンアイヌの弦楽器トンコリのソロライブ(演奏：トンコリ奏者・OKI)	12/20(日)	72	〃
フィルムレクチャー	「北極光」(原作：村上元三、1941 年作品)の上映と解説(解説：当館学芸員)	12/27(日)	64	〃
市民参加型事業	「あなたのサハリン」(思い出の又は想像上のサハリンについて投稿。作文を掲示し紹介。)	サハリン展会期中	53	〃
オープニングパーティー	藤倉英幸展オープニングパーティー(参加者：藤倉英幸氏及び同展覧会関係者、来館者)	1/30(土)	89	藤倉英幸展関連事業
展示室講話	「藤倉英幸の世界——貼り絵でつづる四季の旅情」(講師：当館学芸員)	2/6(土)、27(土)、3/20(土)	105	藤倉英幸展関連事業
展示室講話	「The JR Hokkaido」誌面にみる北海道の鉄道風景(講師：当館学芸員)	2/20(土)、3/6(土)		
アートトーク	「北を描く旅人たち——雑誌づくりのオモテとウラと」(お話し：藤倉英幸氏、渡邊俊博氏、北室かず子氏)	2/13(土)	108	〃
※ 連続朗読会	「三浦綾子の世界——朗読とチェンパロの調べに乗せて」(朗読：松井信子氏、演奏：明楽みゆき氏)	9/4(金)、9/5(土)	170	

教育普及事業

事業項目		事業名	実施時期(日数)	観覧(参加)者 実績数(人)	備考
※	朗読とギター	「朗読とギターの夕べ」(朗読:菅村敬次郎氏、ギター演奏:平佐修氏)	6/5(金)	70	
※	ウィークエンド・カレッジ	前期・「北海道の歌人を語る」等5講座 後期・「モーツァルトの楽しみ」等4講座	前期・5～9月の土、日 後期・11～3月の土、日	718	
※	ロビーコンサート	木管五重奏(フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン) (演奏:森圭吾氏ほか札幌楽団員)	11/4(水)	51	
	夏休み文学道場	「中・高生のための創作講座」 (講師:斉藤征義氏、小笠原治嘉氏)	7/29(水)～7/31(金) 3日間	25	
	ファミリー文学館 展覧会	「小林重予展 ― 物語る庭 ―」 *併催「夏休み小中学生短歌コンテスト作品展」「夏休み文学道場作品展」	10/10(土)～11/8(日)	1,934	ファミリー文学館 事業
	ファミリー文学館 ワークショップ	「作って投函 往来葉書」 (講師:小林重予氏)	10/10(土)、11(日)、 17(土) 3日間	35	〃
	ファミリー文学館 事業	「第4回夏休み小中学生短歌コンテスト」(審査員:内田弘氏、阿知良光治氏、当館職員2名)	応募期間 7/7(火)～8/31(月) 表彰式 10/17(土)	1,277	〃
※	わくわく こどもランド	紙芝居、読み聞かせ、工作教室などに 親子で参加	16回開催	688	
	映画鑑賞会	「姉妹」 (原作:畔柳二美、1955年作品)	5/24(日)	84	
	映画鑑賞会	「私は貝になりたい」(原作:橋本忍・加藤哲太郎、1959年作品)	8/9(日)	84	
	映画鑑賞会	「氷点」 (原作:三浦綾子、1966年作品)	9/20(日)	76	三浦綾子展関連事業
	映画鑑賞会	「樺太 1945年夏 氷雪の門」 (原作:金子俊男、1974年作品)	11/29(日)	96	
	映画鑑賞会	「砂の器」 (原作:松本清張、1974年作品)	2/28(日)	101	
	文字・活字文化の 振興事業	「北海道の出版文化史 ― 昭和時代の出版事情を中心に」 (講師:出村文理氏)	10/25(日)	19	
※	市町村連携事業 「文学館出前講座」	市町村、学校、文化団体等との共催 で講演会等を開催した。	18開催	1,190	
※	文化施設連携事業	「カルチャーナイト2009」 展示室の夜間開館等を実施	7/17(金)	336	
※	小学生向け事業	「文学館たんけんクイズ」	通年(307日間)	296	
	文学資料の利用	閲覧室での研究、調査、読書等	通年(307日間)	4,879	
	文学愛好団体の活動	文学愛好団体が講堂利用(貸館)	通年(307日間)	1,558	
※	文化公演の活動	コンサート、朗読会の会場に利用	閉館後の夜間	892	
教育普及事業参加者 計				16,581	

IV 北海道文学に関する調査研究事業

- ① 常設展プレミアム「特集『フロンティア』」関連資料調査
- ② 企画展「アイヌ口承文芸の世界」関連資料調査
- ③ 特別企画展「三浦綾子/いのちへの愛」関連資料調査
- ④ ファミリー文学館「小林重予展」関連資料調査
- ⑤ 企画展「サハリンを読む ― 遙か[樺太]の記憶」関連資料調査
- ⑥ 企画展「藤倉英幸と旅のイメージ」関連資料調査
- ⑦ 特別企画展・企画展の図録作成に要する調査
- ⑧ 次年度の常設展プレミアム関連資料調査
- ⑨ 蘭 繁之の関連資料調査
- ⑩ 葛飾北斎の関連資料調査
- ⑪ しかけ絵本の関連資料調査
- ⑫ 脚本・台本の関連資料調査
- ⑬ 吉村 昭の関連資料調査

V 文学愛好団体等の活動に対する支援事業

次の団体の事業に対して、後援名義並びに主共催名義の使用を承認して支援した。

- ① 旬アングル 代表 鉢呂勝徳
「山田大輔&吉住和倫ジョイントリサイタル」
(平成 21 年 7 月 3 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ② ギター大好き恵子ママのホームページ
「GW ギターコンサート前夜祭」
(平成 21 年 5 月 1 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ③ 小林多喜二『蟹工船』講演会実行委員会
「小林多喜二『蟹工船』講演会」
(平成 21 年 10 月 10 日 かでる 2・7 ホール)
- ④ 中川町教育委員会
「斎藤茂吉記念第 16 回中川町短歌フェスティバル」
(平成 21 年 6 月 1 日～10 月 31 日 中川町教育委員会)
- ⑤ 絵本・児童文学研究センター
「児童文学ファンタジー大賞第 15 回記念 第 14 回文化セミナー『書くよろこび』」
(平成 21 年 11 月 15 日 小樽市民センター)
- ⑥ 栗山町教育委員会
「山内栄治展」
(平成 21 年 12 月 10 日～27 日 くりやまカルチャープラザ「Eki」)
- ⑦ 財団法人北海道文化財団
「若手芸術家発表促進事業〈夢の畑シリーズ〉弦楽カルテット in 北海道文学館」
(平成 22 年 3 月 21 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑧ 財団法人北海道生涯学習協会
「ほっかいどう学」かでる移動講座 ※平成 22 年度事業
(平成 22 年 6 月 6 日、7 月 4 日、8 月 1 日 北海道立文学館地階ロビー)
- ⑨ 加藤周一ドキュメンタリー映画上映実行委員会 ※平成 22 年度事業
「加藤周一ドキュメンタリー映画『しかし、それだけではない』上映会」
(平成 21 年 5 月 9 日 共催ホール)

VI 啓発広報事業

- ① 事業案内、各展覧会ポスター・ちらし及び講演会・セミナーちらし等を制作・発行し、道内外の文学館、道内の博物館や図書館、札幌市内の、地区センター、区民センター、カルチャーセンター、主要ホテル、観光案内所等に配布した。又、JR 札幌駅、地下鉄各駅構内にポスターの掲示を行った。更に、展覧会の開催を PR するため、新聞紙上で有料広告を行った。
- ② 「北海道文学館報」第 77 号(5 月 23 日)、第 78 号(7 月 17 日)、第 79 号(11 月 20 日)、第 80 号(2 月 5 日)を発行し、上記と同様の各施設や文学館会員に配付したほか、館内に備え置いて来館者の利用に供した。

VII 刊行物の刊行事業

- ① 企画展「アイヌ口承文芸展」図録の刊行
- ② 特別企画展「三浦綾子展」図録の刊行
- ③ 企画展「サハリン展」図録の刊行
- ④ 企画展「藤倉英幸展」図録の刊行
- ⑤ 研究紀要「資料情報と研究 2009」の刊行
- ⑥ 「平成 20 年度年報」の刊行

VIII その他の付帯事業

- ① 「北海道文学大事典」(補遺版)の編集作業
標記補遺版(人名編)の平成 23 年度発行を目指して編集作業を行った。
- ② 博物館実習生の受入
博物館実習生—16 名(7 月～3 月、一人 2 週間)

■ 統計・資料 ■

I 平成 21 年度 展覧会別観覧状況

区 分	常設展	特別企画展	企 画 展			貸 館	計	
	北海道の文学	三浦綾子展	アイヌ口承文芸展	サハリン展	藤倉英幸展	チカupp美恵子展		
開催日数	307	50	45	41	45	6		
有 人 料	個 人	一 般	1,095	1,342	269	268	623	3,597
		高大生	72	43	15	19	19	168
		小中生		27				27
		幼 児						0
		小 計	1,167	1,412	284	287	642	3,792
	団 体	一 般	981	526	240	141	257	2,145
		高大生	99	36	14	15	14	178
		小中生						0
		小 計	1,080	562	254	156	271	2,323
		免除・招待	9,180	1,336	1,667	1,827	1,627	939
観覧者総数	11,427	3,310	2,205	2,270	2,540	939	22,691	

II 平成 21 年度 事業別利用状況

単位：名

区分		月別													合計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
特別会計事業	展覧会事業	常設展	680	775	745	1,186	1,258	1,319	955	956	809	618	527	522	10,350
		常設展プレミアム 特集「フロンティア」	542	535											1,077
		アイヌ口承文芸展		130	970	1,105									2,205
		三浦綾子展					1,536	1,774							3,310
		サハリン展								464	1,268	538			2,270
		貸館 チカupp美恵子展										939			939
		藤倉英幸展										223	1,156	1,161	2,540
	教育普及事業	文芸講演会・セミナー・文学散歩		116	235	95	272	227	120	474	64	142	157	56	1,958
		ファミリー文学館 (ワークショップ、短歌コンテスト含む)						1,277	1,312	648					3,237
		映画鑑賞会		84			84	76		96			101		441
		トンコリ演奏会									72				72
		文学道場				25									25
		愛好団体の文学活動	126	55	57	77	57	153	303	114	57	243	144	172	1,558
		資料閲覧・共同研究	360	498	391	448	405	456	356	396	334	410	366	459	4,879
小 計	1,708	2,193	2,398	2,936	3,612	5,282	3,046	3,148	2,604	3,113	2,451	2,370	34,861		
一般会計事業	文芸講演会・セミナー													0	
	連続朗読会							170						170	
	朗読とギター			70										70	
	ウィークエンド カレッジ		65	74	83	65	83	40	51	51	50	67	89	718	
	わくわくこどもランド	31	31	39	135	150	26	30	49	105	58	34		688	
	ロビーコンサート								51					51	
	市町村連携事業「文学館出前講座」		171	51	401	53	186	86	100	142				1,190	
	カルチャーナイト 2009				336									336	
	文学館たんけんクイズ	16	24	9	19	26	10	46	47	31	17	19	32	296	
	古書バザール													0	
	公演 (コンサート、朗読会)	156	143	209	124			50	70			90	50	892	
小 計	203	434	452	1,098	294	475	252	368	329	125	210	171	4,411		
その他 (喫茶コーナー)						1,557	302	245	200	265	212	272	3,053		
合 計	1,911	2,627	2,850	4,034	3,906	7,314	3,600	3,761	3,133	3,503	2,873	2,813	42,325		

※古書バザールの実績数は、カルチャーナイト 2009 欄に計上。
 ※その他 (喫茶コーナー) 9月分は、4～8月分を含む。

Ⅲ 平成 21 年度 資料収集状況

収集状況

単位：点

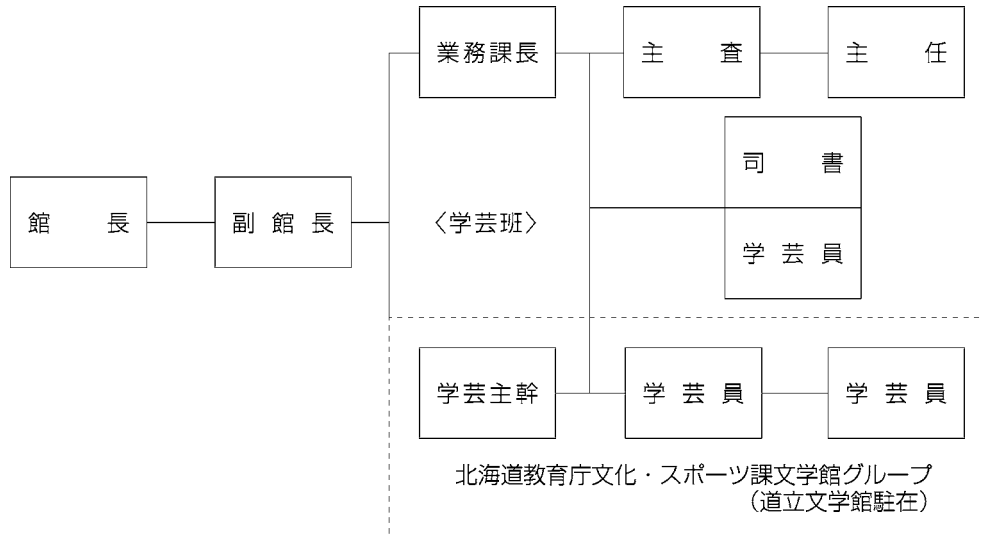
区 分	購 入	受 贈	合 計
図 書 資 料	529	6,447	6,976
雑 誌 資 料	518	4,641	5,159
視 聴 覚 ・ 電 磁 資 料	0	10	10
特 別 資 料	9	2,267	2,276

〈主な収集特別資料一覧〉

・「こっくり会」関係資料を含む河邨文一郎旧蔵資料	227 点	受贈
・高橋揆一郎直筆色紙	2 点	受贈
・清原日出夫直筆ノートを含む清原日出夫旧蔵資料	18 点	受贈
・北方古地図など舟山廣治旧蔵北方関係資料	1,508 点	受蔵
・塩見一釜旧蔵北海道川柳関係資料	256 点	受蔵
・神谷忠孝旧蔵讓原昌子関連資料	232 点	受蔵
・吉村昭直筆原稿「出されちゃった夫」(400 字詰 12 枚)	1 点	購入
・吉村昭直筆原稿「戦争追憶の月」(400 字詰 12 枚)	1 点	購入
・吉村昭直筆原稿「ハゼ釣り」(400 字詰 15 枚)	1 点	購入
・吉村昭直筆原稿「嫁にやる・もらう」(400 字詰 15 枚)	1 点	購入
・吉村昭直筆原稿「結婚披露宴」(400 字詰 15 枚)	1 点	購入
・和田義雄宛寒川光太郎書簡	1 点	購入

■ 組織及び職員 ■

I 組織機構図



II 職員

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

職名	氏名	職名	氏名		
館長 (財団副理事長)	清原 登志夫	業務課学芸班 学芸員	喜多 香織		
副館長 (財団専務理事)	平原 一良	北海道教育庁文化・スポーツ課 文学館グループ (道立文学館駐在)			
業務課長 (財団常務理事)	川崎 信雄				
業務課 主査	永野 キエ			学芸主幹	寺嶋 弘道
業務課 主任	丹伊田 範子			学芸員	阿部 かおり
業務課学芸班 司書	今野 沙紀	学芸員	伊藤 大介		

■ その他 ■

I 文学館の歩み

年次	事 項	年次	事 項
昭和42	北海道文学館設立総会、館報1号発行、有島武郎文学展		大事典』発行、地域文化功労者賞受賞
43	文学に見る北方風物展	61	日本の文学館風景展、和田謹吾理事長就任、歌誌「原始林」40周年記念展、「石川啄木と野口雨情」文学風物展、石森延男と札幌の児童文学展、詩誌「核」30周年記念展
44	北海道旅の文学展	62	『北海道文学百景』『北海道文学絵はがき』発行、北海道文学館歩み展、北海道文学館20周年記念祝賀会および記念展、俳句誌「氷原帯」創刊40周年記念展
45	伊藤整・亀井勝一郎文学展	63	北海道歌人会創立35周年記念展、北海道新聞文学賞展、『北海道文学読本』発行、没後30年久保栄文学展、近代日本の文豪——森鷗外展、財団法人北海道文学館設立
46	北海道詩歌展	平成元	胆振文学展・目で見える風土と文学、俳句誌「葦牙」創刊700号記念展、北海道女流作家第一号森田たま展、北海道川柳展、作家生活25年記念三浦綾子展（札幌、旭川）
47	目で見える札幌文学散歩	2	児童文学「新十津川物語」展（札幌、新十津川）、移動展・石川啄木と野口雨情展、文化情報誌「ニュースきょうどう・カムイミンタラ」展、歌誌「新墾」創刊60周年記念展、北のロマンを奏でる——渡辺淳一文学展、市町村文芸誌展——道東・道北編
48	藤村における旅資料展、久保栄文学展、札幌の文学・百年展	3	市町村文芸誌展——道央・道南編、移動展・石森延男と室蘭の児童文学展、文学展・北海道花の歳時記、来道60年記念齋藤茂吉展、文芸誌「赤煉瓦」とその周辺展
49	文学にみる札幌風物展、北海道女流文学展、小田観螢・人と作品展	4	設立25周年記念・有島武郎と木田金次郎展、北電文化誌「フロンティア」著名作家原稿展、文学展・北海道花の歳時記（室蘭）、北の文学風物誌展（冬の巻）、らいらっく文学賞展
50	札幌の作家展（戦前の巻）、戦後30年・北海道文学展、札幌の作家展（戦後の巻）、川柳に見る戦後の札幌展	5	俳句誌「アカシヤ」500号記念展、札幌文学散歩展、没後25年・道立文学館着工記念伊藤整文学展、北海道詩人協会40周年記念展
51	碑にみる北の文学展、林不忘・長谷川四郎兄弟展、石狩川流域文学展、歌人・山下秀之助展	6	文学・北の歳時記展、文学展・札幌線沿線の旅、北の山と文学展、和田謹吾理事長死去
52	札幌の文学サークル展、文学展・北の海、札幌・戦後演劇展	7	澤田誠一理事長就任
53	文学展・ふるさとの窓、北海道児童文学展、さっぽろの俳句展		
54	札幌市資料館に館看板掲示、現代北海道短歌展、風土のなかの文学碑展、『北海道文学地図』発行		
55	現代北海道俳句展、北海道岬文学展、児童文学と絵日記展——石森延男・その周辺——		
56	雑誌「北方文芸」展、石森延男児童文学展、館所蔵文芸雑誌閲覧開始、北海道岬・文学展、高橋留治氏から3000余冊の詩書等寄贈、北海道文学全集展		
57	島木健作文学展、船山馨文学展、北海道・湖文学展、鮫島交魚子・加藤愛夫文学展		
58	寺田京子・宮田益子・森みつ三人展、文学展・大地と人間、にんげん坂本直行展——その絵と文学——		
59	北海道児童文学全集展、北海道演劇資料展		
60	北海道文学展示室が常設展に移行、北海道俳句展、北原白秋展、文学にみる北方風物展、更科源蔵初代理事長死去、『北海道文学		

年次	事項	年次	事項
	北海道立文学館開館記念特別展・北の夜明け、所蔵品展・私の愛した抒情詩人たち		
8	特別企画展・北海道の俳句、特別企画展・久保栄と北海道、所蔵品展・船山馨の文学世界	17	企画展・現代少年少女詩・童謡詩展、特別企画展・神沢利子の世界～北を想う・北を描く～、特別企画展・原田康子の北海道～小説「挽歌」から50年～、企画展・サハリン追跡～残留朝鮮人の軌跡ファミリー文学館・春を待つ子どもたち～いわさきちひろ複製画展～
9	特別企画展・森田たまと素木しづ、特別企画展・青春と文学、所蔵品展・書簡に探る作家の素顔	18	特別企画展・石川啄木～貧苦と挫折を超えて～、特別企画展・池澤夏樹のトポス～旅する作家と世界の出会い～、企画展・人生を奏でる二組のデュオ～有島武郎と木田金次郎・里見淳と中戸川吉二～、企画展・写・文交響～写真家・綿引幸造の世界から～、企画展・〈デルス・ウザーラ〉絵物語展、企画展・書房の余滴～中山周三旧蔵資料から～
10	特別企画展・北海道の短歌、特別企画展・有島武郎とヨーロッパ、企画展・吉田一穂とその時代	19	特別企画展・太宰治の青春～津島修治であったころ～、特別企画展・目で識る川柳250年展、併設：北海道川柳の流れ、企画展・父・船山馨のDNA～船山滋生の彫刻と挿画～、企画展・遊んで学んだ、あの時代。新発見！100年前の児童雑誌、企画展・探求者の魂～山田昭夫の書斎から～
11	特別企画展・夏目漱石と芥川龍之介、特別企画展・〈本〉はどこに向かうのか、所蔵品展・本庄陸男と『石狩川』	20	特別企画展・詩の黄金の庭 吉増剛造展、企画展・馬たちがいた 加藤多一と北の風景、企画展・鳥のことはば 人のことはば 加藤幸子の見つめる世界、企画展・文学の鬼を志望すー八木義徳
12	特別企画展・挿絵と装幀の小宇宙、特別企画展・「北緯五十度」の詩人たち、企画展・花咲く北の川柳展	21	常設展プレミアム・特集「フロンティア」——60～70年代の北海道、特別企画展・没後10年…三浦綾子／いのちへの愛、企画展・語り、継ぐ。——アイヌ口承文芸の世界、企画展・サハリンを読む——遙か [樺太]の記憶、企画展・藤倉英幸と旅のイメージ
13	特別企画展・夢の世界のおくりもの～アンデルセン童話・絵本原画展～、特別企画展・100年目の小熊秀雄～20世紀詩のアヴァンギャルド～、企画展・映画ポスターに見る北海道の文学		
14	神谷忠孝理事長就任、特別企画展・寺山修司展～テラヤマ・ワールド——きらめく闇の宇宙～、特別企画展・大自然に抱擁されて～知里幸恵『アイヌ神謡集』の世界へ～、企画展・中沢茂“ひとりの賑やかさ”～根室と霧と芸術家たち～		
15	特別企画展・生誕100年記念 林芙美子展 特別企画展・函館—青森海峡浪漫～〈北の20世紀〉を紡いだ作家たち～、企画展・詩人百田宗治の戦後～北海道に残したもの～		
16	特別企画展・写真家掛川源一郎の20世紀 特別企画展・更科源蔵生誕100年 北の原野の物語、企画展・アイヌ語地名を歩く——山田秀三の地名研究から——、企画展・仙花紙からの出発～雑誌に見る「戦後」の姿、企画展・北の風土の批評精神 発生と展開～風巻景次郎から小笠原克へ～		

II 諸会議・運営日誌

平成 21 年

- 4月11日(土) 常設展プレミアム特集『『フロンティア』—60-70年代の北海道』オープン(～5月17日)
ほくでん『フロンティア』資料寄贈式(10時30分から、地階ロビー)
- 12日(日) 公演「春に奏でるヴァイオリンとギターの調べ」
- 26日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「こいのぼりをつくろう」)
- 5月1日(金) 公演「ゴールデンウイークギターコンサート前夜祭」
- 3日(日) フィルムレクチャー「『わが愛北海道』に観る1960年代の北海道」(ほくでん企画制作)
- 5日(火) わくわくこどもランド(こどもの日スペシャル「人形劇と影絵」)
- 9日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- 15日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師・小笠原治嘉)
- 16日(土) ウィークエンド・カレッジ(北海道の歌人を語る、講師・山名康郎)
- 17日(日) 文学館出前講座(苫前町、講師・いいだともき)
- 18日(月) 文学館出前講座(浜頓別町豊寒別小学校、講師・岸田典大)
- 19日(火) 文学館出前講座(浜頓別町斜内小学校、講師・岸田典大)
- 22日(金) 運営検討委員会(財団)
- 23日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師・工藤知子)
- ウィークエンド・カレッジ(レクイエムの詩学、講師・瀬戸正昭)
- 公演「高田元太郎ギターリサイタル」
- 24日(日) 映画鑑賞会「姉妹」(原作・畔柳二美、1955年)
- 25日(月) 文学館出前講座(北海道手稲養護学校、講師・いいだともき他)
- 28日(木) 監事監査(財団)
- 29日(金) 理事会・評議員会(財団)
- 30日(土) 企画展「語り、継ぐ。アイヌ口承文芸の世界」オープン(～7月20日)
- 講演と対談「アイヌ口承文芸のなかの『恋愛』」(講師・本田優子、中川裕)
- 6月5日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師・本田哲也)
- アイヌ展関連「朗読とギターの夕べ」(朗読・菅村敬次郎、ギター・平佐修)
- 6日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ他)
- ミニ講座「久保寺逸彦文庫の資料について」(講師・北海道立アイヌ民族文化研究センター職員)
- 7日(日) 有島武郎未公開資料記者発表及び特別閲覧
- 10日(水) 文学館出前講座(登別市、講師・館野直光)
- 13日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- ミニ講座「アイヌ口承文芸を聞く」(講師・北海道立アイヌ民族文化研究センター職員)
- 14日(日) シンポジウム「口承文芸の魅力—アイヌとその隣人—」(講師・萩原真子、中川裕、風間伸次郎、丹菊逸治、遠藤志保)
- 18日(木) サハリン州立郷土博物館 ローン館長来館
- 19日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師・小笠原治嘉)
- 全国文学館協議会幹事会・総会(日本近代文学館、副館長出席)
- 20日(土) ウィークエンド・カレッジ(北海道の歌人を語る、講師・村井宏)
- 公演「時を織る 北海道立文学館コンサート」
- 23日(火) 公演「雅の笛」演奏会
- 27日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師・工藤知子)
- ウィークエンド・カレッジ(レクイエムの詩学、講師・瀬戸正昭)
- 公演「なつのまど～ハーモニカとギター」
- 7月1日(水) 常設展アーカイブ「最期の手紙 1923年の有島武郎と波多野秋子」オープン(～9月30日)
- 3日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師・村中李衣)
- 文学館出前講座(富良野市、講師・クレヨンカンパニー)
- 公演「山田大輔&吉住和倫ジョイントリサイタル」
- 4日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- 11日(土) わくわくこどもランド(絵本の読み聞かせ他)
- 文学館出前講座(旭川市、講師・斉藤征義)
- 公演「カルテット・スピリタス(サクソ四重奏)」
- 12日(日) 文芸対談「語ること、聴き取ること」(講師・知里むつみ、池澤夏樹)
- 17日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師・小笠原治嘉)
- カルチャーナイト2009(常設展・特別展の開館時間延長、「朗読とピアノの夕べ」、「たそがれ俳句吟行会」、古書バザール)
- 18日(土) ウィークエンド・カレッジ(北海道の歌人を語る、講師・山名康郎)
- 20日(月) 文学館出前講座(根室市、講師・クレヨンカンパニー)
- 25日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師・工藤知子)
- ウィークエンド・カレッジ(レクイエムの詩学、講師・瀬戸正昭)
- 26日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「うちわをつくろう」)

- わくわくこどもランド (手作り教室「箱の中に夏をつくろう」)
 文学館出前講座 (壮瞥町、講師・いいだともき他)
- 29日 (水) 夏休み文学道場「中・高生のための創作講座」(講師・斉藤征義、小笠原治嘉)
 30日 (木) 夏休み文学道場「中・高生のための創作講座」(講師・斉藤征義、小笠原治嘉)
 31日 (金) 夏休み文学道場「中・高生のための創作講座」(講師・斉藤征義、小笠原治嘉)
 8月1日 (土) 特別企画展「没後10年…三浦綾子／いのちへの愛」オープン(～9月27日)
 同展オープニングセレモニー
 講演会「三浦綾子とその時代」(講師・山内亮史)
 わくわくこどもランド「夏休みスペシャル」
 わくわくこどもランド (手作り教室「紙芝居をつくろう」)
 わくわくこどもランド (手作り教室「紙芝居をつくろう」)
 7日 (金) ウィークエンド・カレッジ (朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
 8日 (土) ウィークエンド・カレッジ (朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
 9日 (日) 日本近代文学会研究集会参加者視察来館
 映画鑑賞会「私は貝になりたい」(原作・橋本忍／加藤哲太郎、1959年、東宝)
 18日 (火) 愛知県副知事視察来館
 20日 (木) 文学館出前講座 (中標津町、講師・佐々木謙)
 21日 (金) ウィークエンド・カレッジ (児童文学創作教室、講師・小笠原治嘉)
 22日 (土) ウィークエンド・カレッジ (朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
 ウィークエンド・カレッジ (北海道の歌人を語る、講師・内田弘)
 29日 (土) ウィークエンド・カレッジ (イタリア文学講読、講師・工藤知子)
 ウィークエンド・カレッジ (レクイエムの詩学、講師・瀬戸正昭)
 朗読と演劇「母 舞台に生きる三浦綾子の文学」(会場・北翔大学ポルトホール)
 9月4日 (金) ウィークエンド・カレッジ (児童文学創作教室、講師・横田由紀子)
 連続朗読会「三浦綾子の世界——朗読とチェンバロの調べに乗せて」(朗読・松井信子、
 チェンバロ演奏・明楽みゆき)
 5日 (土) 連続朗読会「三浦綾子の世界——朗読とチェンバロの調べに乗せて」(朗読・松井信子、
 チェンバロ演奏・明楽みゆき)
 講演会「妻・綾子と歩んだ40年」(講師・三浦光世)
 7日 (月) 文学館出前講座 (石狩市、講師・手島圭三郎)
 12日 (土) 文学散歩「三浦綾子作品の舞台を訪ねる」(三浦綾子記念文学館、旭川六条教会、塩狩峠
 記念館等。ガイド・片山晴夫、神谷忠孝)
 ウィークエンド・カレッジ (朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
 18日 (金) ウィークエンド・カレッジ (児童文学創作教室、講師・小笠原治嘉)
 19日 (土) わくわくこどもランド「絵本の読み聞かせ他」
 ウィークエンド・カレッジ (北海道の歌人を語る、講師・山名康郎)
 文学館出前講座 (室蘭市、講師・館野直光、若狭弘樹)
 20日 (日) 映画で読む三浦綾子の文学「氷点」(1966年、大映)
 26日 (土) ウィークエンド・カレッジ (朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
 ウィークエンド・カレッジ (イタリア文学講読、講師・工藤知子)
 ウィークエンド・カレッジ (レクイエムの詩学、講師・瀬戸正昭)
 27日 (日) 文学館出前講座 (長沼町、講師・いいだともき他)
 10月1日 (木) 全国博物館大会 (旭川市、～2日)
 10日 (土) ファミリー文学館「小林重予展——物語る庭——」オープン(～11月8日)
 ギャラリートーク「物語る庭で根ほり葉ほり」(講師・小林重予)
 ワークショップ「作って投函往来葉書(A)」(講師・小林重予)
 わくわくこどもランド
 ウィークエンド・カレッジ (イタリア文学講読、講師・工藤知子)
 公演「音紀行・時の響き」(チェンバロ演奏・明楽みゆき他)
 11日 (日) ワークショップ「作って投函往来葉書(B)」(講師・小林重予)
 14日 (水) 公演「カンテラと馬頭琴コンサート」(出演・あらひろこ他)
 16日 (金) ウィークエンド・カレッジ (児童文学創作教室、講師・小笠原治嘉)
 17日 (土) 夏休み小中学生短歌コンテスト表彰式
 ギャラリートーク「物語る庭で根ほり葉ほり」(講師・小林重予)
 ワークショップ「作って投函往来葉書(A・B)」(講師・小林重予)
 20日 (火) 作家・原田康子さん死去
 24日 (土) クロストーク&朗読会「『鬼のいる庭』ができるまで」(講師・小林重予、岡田哲也)
 25日 (日) 講演会「北海道の出版文化史」(講師・出村文理)
 文学館出前講座 (当別町、講師・いいだともき他)
 30日 (金) 企画検討委員会 (財団)
 31日 (土) ギャラリートーク「物語る庭で根ほり葉ほり」(講師・小林重予)
 文学館出前講座 (羅臼町、講師・原子修)
 11月1日 (日) 芸術週間(～11月7日)常設展無料
 わくわくこどもランド
 ギャラリートーク「物語る庭で根ほり葉ほり」(講師・小林重予)
 4日 (水) 北海道立文学館指定管理者現地説明会 (当館講堂)
 ロビーコンサート「木管五重奏」(出演・札幌交響楽団フルート奏者・森圭吾他)
 5日 (木) 北海道文化賞贈呈式 (Hライフォート札幌)

- 6日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師・横田由紀子)
- 7日(土) 公演「バロックの饗宴〜パッサの魂を探る〜」
- 8日(日) ギャラリートーク「物語る庭で根ほり葉ほり」(講師・小林重子)
- 19日(木) 文学館出前講座(小平町、講師・クレヨンカンパニー)
- 20日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師・柴村紀代)
- 21日(土) 企画展「サハリンを読む―遙か「樺太」の記憶」オープン(～1月17日)
文芸講演会「「樺太文学」の現在」(講師・川村湊)
- 25日(水) 運営検討委員会(財団)
- 28日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師・工藤知子)
ウィークエンド・カレッジ(モーツァルトの楽しみ、講師・瀬戸正昭)
- 29日(日) 映画鑑賞会「樺太1945年夏 氷雪の門」(原作・金子俊男、1974年)
- 12月3日(木) 文学館出前講座(滝川市、講師・館野直光)
- 4日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師・横田由紀子)
- 6日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「ツリーをつくろう」)
文学館出前講座(滝川市、講師・クレヨンカンパニー)
- 12日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- 13日(日) わくわくこどもランド(手作り教室「カルタをつくろう」)
- 15日(火) 北海道立文学館指定管理者選定委員会(当館講堂)
- 16日(水) 臨時理事会(財団)
- 18日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師・柴村紀代)
- 20日(日) 「OKI トンコリ・ソロライブ」(トンコリ奏者・OKI)
- 23日(水) わくわくこどもランド「クリスマススペシャル」
- 26日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師・工藤知子)
ウィークエンド・カレッジ(モーツァルトの楽しみ、講師・瀬戸正昭)
- 27日(日) フィルムレクチャー「北極光」(原作・村上元三、新興キネマ、1941年)
- 平成22年
- 1月9日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- 13日(水) 高橋はるみ知事サハリン展観覧
- 15日(金) 公益法人実地検査(道行政改革課)
ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師・鈴木純子)
- 21日(木) チカップ美恵子刺繍作品展オープン(貸館、～27日)
- 23日(土) わくわくこどもランド「絵本の読み聞かせ」
ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師・工藤知子)
ウィークエンド・カレッジ(モーツァルトの楽しみ、講師・瀬戸正昭)
- 30日(土) 企画展「藤倉英幸と旅のイメージ」オープン(～3月22日)
藤倉展オープニングパーティー
ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- 2月5日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師・升井純子)
- 6日(土) 展示室講話「藤倉英幸の世界―貼り絵でつづる四季の旅情」
- 13日(土) アートトーク「北を描く旅人たち―雑誌づくりのオモテとウラと」(お話・藤倉英幸、渡邊俊博、北室かず子)
ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
- 19日(金) 佐々木譲氏直木賞受賞祝賀会(ノボテル札幌)
- 20日(土) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師・柴村紀代)
わくわくこどもランド「ひなまつりスペシャル」
展示室講話「「The JR Hokkaido」誌面にみる北海道の鉄道風景」
- 27日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光)
ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師・工藤知子)
ウィークエンド・カレッジ(モーツァルトの楽しみ、講師・瀬戸正昭)
展示室講話「藤倉英幸の世界―貼り絵でつづる四季の旅情」
公演「熊谷俊之ギターコンサート」
- 28日(日) 映画鑑賞会「砂の器」(原作・松本清張、松竹、1974年)
- 3月4日(木) 北海道美術館学芸員研究協議会(～5日)
- 5日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師・平倫子)
- 6日(土) ウィークエンド・カレッジ(朗読で楽しむ北海道の文学、講師・館野直光) 発表会
展示室講話「「The JR Hokkaido」誌面にみる北海道の鉄道風景」
- 13日(土) ウィークエンド・カレッジ(イタリア文学講読、講師・工藤知子)
ウィークエンド・カレッジ(モーツァルトの楽しみ、講師・瀬戸正昭)
- 18日(木) 運営検討委員会(財団)
- 19日(金) ウィークエンド・カレッジ(児童文学創作教室、講師・加藤多一)
- 20日(土) 展示室講話「藤倉英幸の世界―貼り絵でつづる四季の旅情」
- 21日(日) 公演「弦楽カルテット in 北海道立文学館」
- 25日(木) 理事会・評議員会
- 26日(金) 全国文学館協議会「資料に関する共同討議」(日本近代文学館)
富山県議会視察来館

III 財団法人北海道文学館役員等名簿

(平成22年3月31日現在)

顧問	池澤 夏樹	加藤 幸子	木原 直彦	木村 敏男	坂野上 明	堀 寛	
	山口 昌男	山名 康郎					<8名>
参与	朝倉 賢	木村真佐幸	工藤 欣彌	小杉 捷七	鈴木 光彦	高島 二郎	
	谷口亜岐夫	永井 浩	永田 富智	新妻 博	原子 修	樋口 游魚	
	比良 信治	村井 宏					<14名>

役職員

理事長 1	神谷 忠孝	評議員 1	東 延江	評議員 25	佐藤 将寛	評議員 49	中島 洋
副理事長 2	小檜山 博	// 2	阿知良光治	// 26	佐野 良二	// 50	中館 寛隆
// 3	辻脇 系一	// 3	新井 章夫	// 27	澤辺 成徳	// 51	野坂 政司
// 4	清原登志夫	// 4	飯塚 優子	// 28	柴橋 伴夫	// 52	野坂 幸弘
専務理事 5	平原 一良	// 5	石塚 純一	// 29	杉野 一博	// 53	橋本 征子
常務理事 6	川崎 信雄	// 6	植松美由紀	// 30	鈴木八駿郎	// 54	平澤 秀和
理事 7	内田 弘	// 7	岡崎 守	// 31	瀬戸 正昭	// 55	平野 温美
// 8	加藤 多一	// 8	小笠原治嘉	// 32	高橋 明雄	// 56	本田 優子
// 9	工藤 正廣	// 9	押野 武志	// 33	高橋 秀明	// 57	松嶋 東洋
// 10	斉藤 征義	// 10	小野規矩夫	// 34	滝谷 泰星	// 58	光城 健悦
// 11	柴村 紀代	// 11	笠井 嗣夫	// 35	田口 耕平	// 59	森 一生
// 12	立花 峰夫	// 12	片山 晴夫	// 36	田中 綾	// 60	山下 和章
// 13	谷 暎子	// 13	菊地 慶一	// 37	田中 和夫	// 61	山本 丞
// 14	前川公美夫	// 14	菊地 寛	// 38	田中 厚一	// 62	吉田 真弓
// 15	源 鬼彦	// 15	岸 美千代	// 39	谷口 孝男	// 63	若宮 明彦
// 16	村田 俊秋	// 16	木村 征範	// 40	千葉 宣一	// 64	鷲谷 峰雄
// 17	八子 政信	// 17	日下 哉	// 41	知里むつみ	// 65	和田 由美
// 18	米坂 ヒデノリ	// 18	熊谷ユリヤ	// 42	手島圭三郎	// 66	綿引 幸造
//		// 19	倉島 齊	// 43	寺田 文恵		
//		// 20	小林 真二	// 44	出村 文理		
//		// 21	斎藤 一郎	// 45	藤堂志津子		
//		// 22	桜井 健治	// 46	時田 則雄		
監事 1	吉田 秋陽	// 23	佐々木 讓	// 47	富田 正一		
// 2	清水 憲之	// 24	佐藤庫之介	// 48	中澤千磨夫		

運営検討委員会

<委員5名+副理事長1名>

副理事長	小檜山 博
理事 1	加藤 多一
// 2	斉藤 征義
// 3	谷 暎子
// 4	前川 公美夫
評議員 5	平澤 秀和

収集資料選定評価専門委員会

(任期：H 20.7.1~H 22.6.30)

<5名>

参与 1	谷口 亜岐夫
参理 2	工藤 正廣
// 3	立花 峰夫
// 4	村田 俊秋
評議員 5	出村 文理

企画検討委員会

<委員13名+副理事長1名>

副理事長	辻脇 系一
理事 1	工藤 正廣
// 2	柴村 紀代
// 3	立花 峰夫
// 4	源 鬼彦
// 5	内田 弘
評議員 6	石塚 純一
// 7	佐野 良二
// 8	谷口 孝男
// 9	知里むつみ
// 10	松嶋 東洋
// 11	森 一生
// 12	若宮 明彦
// 13	和田 由美

平成21年度年報

HOKKAIDO MUSEUM OF LITERATURE

北海道立文学館

〈指定管理者〉財団法人 北海道文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1番4号
TEL(011)511-7655 FAX(011)511-3266